

## 1. 点検結果概要

### ■対象施設(市内全域)

街路樹、公園、スポーツ・文化施設、市営住宅、区役所、保育園、老人憩の家等

### ■調査対象本数(約52,900本)

街路樹約12,600本 公園約12,900本 市営住宅約5,000本 小中学校約1

4,000本 区役所・保育園・スポーツ施設等約8,400本

### ■調査結果

危険性の高い(E判定)樹木 約4,900本

→撤去:約4,500本 改善処置(枝枯れ撤去・土壌改良等)約400本

## 2. 事業費(2月補正計上額)

		事業費	備考
9月補正		328,000	(当初見込み - 点検本数の3%) 伐採本数 約1,740本
2月補正	みどり政策課	586,000	(現状 - 点検本数の約9.3%) 追加伐採本数(枯れ枝撤去含) 約3,160本 →計4,900本
	住宅政策課	11,800	
計		925,800	

## 3. 今後のスケジュール

R6.3月末 危険樹木等の撤去完了

→約4,900本(撤去約4,500本、枯れ枝撤去等約400本)

R6~8年度 樹木補植、土壌改良による樹勢回復措置等

→補植樹種については、下記、(仮称)森の都再生プランの中で検討

(主な要因)

### ①老木(寿命)

寿命による老木化(サクラ40~50年)



(全体的に衰弱している。)

### ②植栽基盤の不良 ※街路樹

根を張るスペースが確保できていない。



(地下埋設物工事等により根が切断。  
切断部から腐朽が進み、根の空洞が発生。)

### ③病害虫による被害

シロアリによる樹木被害が多い



(シロアリによる食害が進んでいる。(サクラ))

### ④維持管理による要因

剪定の繰り返しによる幹焼け、幹枯れ



(幹焼け)

## “緑にやさしい街づくり”に向けた今後の取組み

### 命つなぐプロジェクト

撤去する樹木の命をつなぐため、近隣小学校の児童と取組むプロジェクト

(対象樹木)

- ①自衛隊通り ②八景水谷公園
- ③谷尾崎梅林公園



(城北小学校)

(取組み概要)

- ✓撤去樹木より枝(接ぎ穂)を採取
- ✓台木と接ぎ穂の形成層を合わせ接ぐ
- ポットで育成後、1年後(樹高1m程度)に植栽



### (仮称)森の都再生プラン

緊急樹木点検結果について、詳細に要因を分析し、今後の森の都くまもと再生に向けた取組みに活かしていく。(策定時期:令和6年秋ごろ)

